

化学の切手 切手で見る化学史と化学 (記録)

伊藤良一

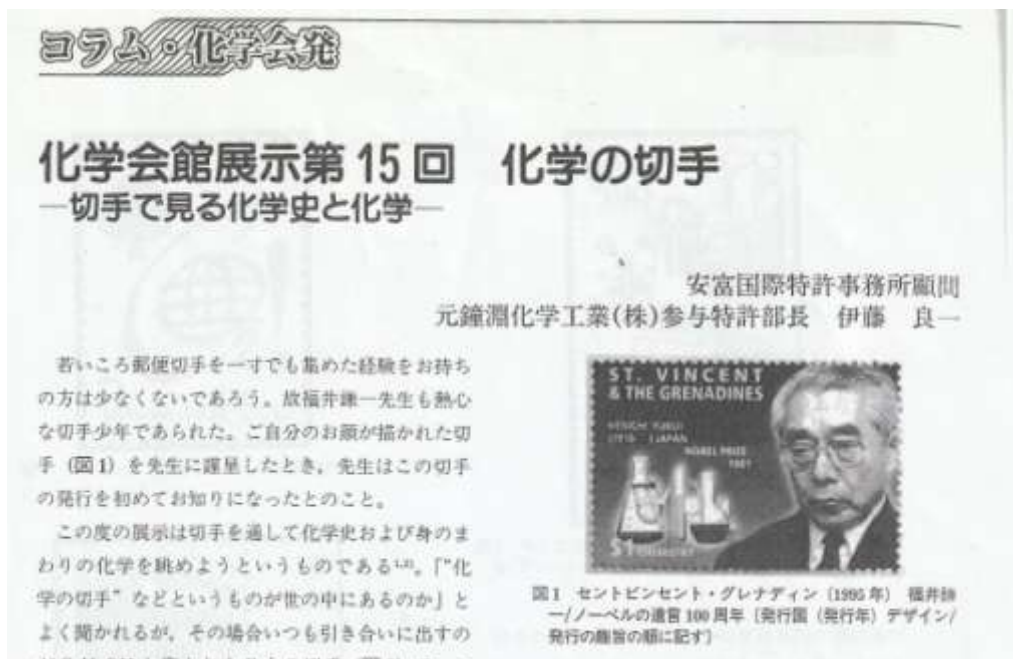
1998年9月1日～1999年2月18日

企画：日本化学会 協力：化学史学会

目次

1. 『化学と工業』51巻(1899)8号1230～1232に掲載された本展示の紹介記事——1
2. 展示の概要(パネルNo.1) —————2
3. 展示した切手リーフ60枚のリスト —————3
4. サイン帳に記名され、のちに化学切手同好会会員になられた方の氏名——4
5. 展示したリーフのうちのNo.1～4 —————5
No.5～60については様子を見乍ら、かつコピーの画素数削減法を検討しながら後日掲載をすることを検討中。

1. 『化学と工業』51巻(1899)8号1230～1232に掲載された本展示の紹介記事



(以下略)

2. 展示の概要 (パネルNo.1)

(パネル No. 1)

化学会館化学史資料展示第15回

化学の切手
一切手で見える化学史と化学

(展示期間：1998年9月
～1999年2月)

展示：伊藤 良一(安富国際特許事務所顧問
元鐘淵化学工業御参事特許部長)
写真撮影：畑 一夫(東京都立大学名誉教授)
協力：會田 久美子(日本化学会)

この度の展示は郵便切手を通して化学史および身のまわりの化学を眺めようとするものである。化学はそれ自身著しい発展を遂げているのみならず、他の自然科学にも多くの基礎的概念と研究素材を提供している。また数々の基幹産業の基礎を構成する一方、他の大小の産業に不可欠の材料を供給して、人間社会を豊かすることに深く関わっている。従ってそのつもりで調べると、化学に関する切手と見なすことが出来るものは枚挙にいとまがない。

本展示は次の四部から構成される。

- I. 切手の展示(ショーケースNo.1～3) 下記の目次参照
- II. 若干の切手の拡大図に基づく解説(パネルNo.2～5)
- III. PHILA-PERIODIC TABLE OF ELEMENTS(パネルNo.6)
- IV. 関係図書・資料の展示(受付テーブル)

ショーケース中の切手の目次

1. 原子・分子などが描かれた日本の切手
2. 化学史に関する切手
3. 化学記号・化学式・分子模型が表示された切手
4. 化学会の周年記念切手
5. 特殊な材質で作られた切手
6. 化学工業に関する切手(技術史的なものを含む)
7. 環境問題の化学に関する切手

これらの切手のうち5以降のものは、展示期間の中頃に、期初から展示したものの一部と入れ替えて展示する。(受付テーブルに後期展示予定切手のコピーあり)

本展示の参考文献：
化学と工業、51、1230(1998)に記載したもの
化学大辞典、1～10、共立出版(1963～1964)
山岡 望、化学史伝 脚注版、内田老鶴園新社(1968)

於：日本化学会化学図書・情報センター
〒101-0062 東京都千代田区神田駿河台 1-5
Tel 03-3292-6171 Fax 03-3292-6319

企画：日本化学会
協力：化学史学会

3. 展示した切手リーフ 60 枚のリスト

化学の切手
一切手で見える化学史と化学

(化学会館化学史資料展示第 15 回)
 展示した切手リーフ 60 枚のリスト (途中で一部入れ替え)

後期 11/27
入札

採寸
①迄

No 1~12 は前期・後期を通じて全期間展示
 No 13~36 は前期 (1998年9月~11月末) のみ展示
 No 37~60 は後期 (同年11月末~翌年2月半) のみ展示

1. 原子・分子などが描かれた日本の切手	No 1
2. 化学史に関する切手	4
2. 1. 古代ギリシアの物質観 万物の起源は何か?	4
2. 2. 錬金術師	5
2. 2' 錬金術で使用された記号	6
2. 3. 近代化学の開拓者	8
2. 4. メンデレーエフと周期律	13
2. 5. ノーベルとノーベル賞 ノーベルの業績と遺言	15
2. 5' ノーベル化学賞受賞者	17
付1 日本人で化学以外の自然科学系ノーベル賞受賞者	24
付2 スウェーデン発行のノーベル賞切手シリーズ	24
3. 化学記号・化学式・分子模型が表示された切手	25
3. 1. 鉱物その他の無機物	25
3. 1' 原子の内部構造・原子核反応関係	29
3. 2. 有機物・生体関連物質	30
4. 化学会の周年記念切手	33
5. 特殊な材質で作られた切手	37
6. 化学工業に関する切手	39
6. 1. 酸・アルカリ	39
6. 2. 化学肥料	40
6. 3. 金属 (製錬)	41
6. 4. 石油化学中間製品	45
6. 5. 高分子製品	47
6. 6. 医薬・医療、農薬	49
6. 7. エネルギー・原子力	53
6. 8. その他の各種化学製品	55
7. 環境問題に関する切手	57
8. 反核・反化学兵器	59
おわりに	60

以上

4. サイン帳に記名され、のちに化学切手同好会会員になられた方の氏名

サイン帳に署名された延べ91名中、
後に化学切手同好会に入会された方
9名(延べ10名)。伊藤を加えると10名。

1998年
9.18 青藤正巳
" 佐藤晴男

この日18時から兩名と川邊紀雄氏
および伊藤を含む4名で会合

10.13 宇部浩司
楽しく拝見させて頂いたました。私も同好者
ノート(PCeP会員)で ~~休みの日~~ 小さな雑誌に
同様の記事を書いたりしてます(ex. スターマガジン
1998年9月号)。會現在(2年ほど前から)化学切手のHPを
作っております(公開はまだですが)。今日は勉強になり
ました。休みを取った ~~事~~ かりがありました。帰って List
を修正します。

10.13 川 世紀丸
10.14 新井 和春
11.9 荒木恒夫
12/16 稲垣 由夫

1999年
1/26 後藤 孝平
1/29 中島 路可
2/16 荒木 恒夫

5. 展示したリーフのうちのNo.1~4



(原子・分子などが描かれた日本の切手 その2)



ブドウの房状分子模型/
国際児童年(1979)



ウイルス粒子の模型/
第6回国際ウイルス学
会議(1984)



分子の豆畑工模型/
産業教育100年
(1984)

ベンゼン核/日本
薬局方公布100周年
(1986)



原画作成者の想い：
左より中性子(灰色)
中間子(黄色)、陽子(赤)



中性子・中間子・陽子/
中間子理論発表50周年
(1985)

(原子・分子などが描かれた日本の切手 その3)



原子の配列/第11回
国際電子顕微鏡学会議
(1986)



ペロブスカイトの
結晶構造/第3回
超伝導国際会議(1991)



ビタミンB₁₂の構造式/
文化人シリーズ(1993)



仁科芳雄生誕百年記念
切手展



1990年12月6日〜7日
於、日本アイソトープ協会



原子模型/ラジオアイソ
トープ利用50年(1990)

初日消印にも工夫が見られる

2. 化学史に関する切手
 2.1. 古代ギリシアの物質観
 万物の根源は何か？

タレス
 (BC640頃～BC546?)
 最初の一元論者
 “水が万物の源”



彼は静電気の
 観察もした



エンペドクレス
 (BC493～BC433)
 “万物の源は地水火風の四元”
 切手は771の学堂/77111 (部分)
 かつされた左下にEMPEDOKLES

デモクリトス
 (BC460頃～ BC420頃)
 “不変不可分の原子が源
 原子の種類は多数”



アリストテレス
 (BC384～BC322)
 “互変性ある地水火風が源”
 長く錬金術の思想的根拠に



ブリキャンセル切手
 フランス (1988)



環境保護
 スイス (1972)

以上